

## 園芸リハビリだより

令和4年  
11月

2022年11月、小春日和の中、みなさんで花の苗やチューリップの球根を植えていただきました。普段体を動かさにくい患者様もいきいきとした表情でスコップを持ち、一生懸命取り組んでくださいました。



# みきやまの患者様紹介 和田 保さん

## リハビリに励まれる患者様たちの日々のご様子を紹介します!



第1号は和田保さん。当院でリハビリ入院をされておられます。入院生活&コロナ禍のなか、視線入力\*で世界中の方々和您がつながっておられます。(^-)-☆持ち前の明るさと根気強さで、視線入力もあつという間に使いこなされるようになりました!



ベッドにて視線入力でPC操作



※ 視線入力/センサーで視線を読み取り、キーボードやマウスを操作されています。



## 和田さんからひと言

初めまして。和田と申します。ここ、みきやまリハビリテーション病院に入院して1年半が過ぎました。私は毎日のパソコンの時間が待ち遠しくてたまりません。

というのも、私は神経系の病気で体は言うことを聞きません。しかしながら、この病院に転院してきて視線入力によるパソコン利用を紹介してもらい、作業療法士による指導を受けると思ったより簡単にパソコンを使うことができるようになりました。メールやSNS、ネットを使えるようになりました。この文章も自分で書いています。病気になる前は書いたことのない日記を、うれしくなって日々雑感として書き始め、1年半で単行本1冊になる10万字程書くことができました。一度はあきらめていた家族や友人とのやり取りをすることができるようになって夢のようです。毎日夢よ覚めないでと思うくらいです。

パソコンを使えるようになり、家族はもちろん、病気を知らぬ友人も私からの連絡に驚いていました。今は病気になる前と変わらずコミュニケーションが取れています。

ぜひ、皆さんも視線入力によるパソコンの利用を経験してみませんか?

## 和田さんの日記 (一部許可を得て抜粋)

2020年12月7日

いやあ気持ちよかったなあ。お天気にも恵まれた小春日和の中、屋上に車椅子で連れてってもらいました。晴れ渡る青空で木々の紅葉が進みコントラストがとても綺麗でした。もう見れないと思っていたので凄く感動しました。看護師さんとリハビリのセラピストさんにお世話になりっぱなしです。忙しいところありがたいことです。もうみられないかと思う出来事でした。賑やかな楽しい時間を過ごせました。

丁度気管切開の手術から十か月過ぎました。あの日も晴れていました。オベ室に向かう時に窓の隙間から綺麗な青空が見えました。立春大吉だったのを覚えています。思い返せば順調に進んでいるような気がします。家族や病院関係者の皆様にお世話になりっぱなしです。心が折れることなく来れたのは、皆様のお陰とします。改めてありがとうございます。

和田さん、インタビューありがとうございました!!



▲リハビリ室にて

自転車ペダル漕ぎではアスリートの血が騒ぐ様子(^^) ▲